

気候変動と健康

～プラネタリーヘルスの視点から～

医学的視点では地球温暖化は人体へ様々な影響を与えます。その対処について話します。

日時：令和6年2月6日(火)

午後1時から午後3時(開場正午)

会場：取手ウェルネスプラザ

定員：400名(先着)

締切：令和6年2月2日(金)まで



講師：橋爪 真弘 氏

東京大学大学院医学系研究科教授

<プロフィール>

2007年英国ロンドン大学衛生熱帯医学大学院博士課程修了。長崎大学熱帯医学研究所助教、教授を経て、2019年現職。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書主執筆者。世界保健機関Global Air Pollution and Health技術諮問委員。環境省気候変動の影響に関するワーキンググループ(健康分野)座長。

内容

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告によれば、地球の平均気温は1.1℃上昇し、異常気象が増加すると予測される。温暖化による健康影響や日本では今まで見られなかった感染症(マラリア、デング熱等)も懸念されるため、温室効果ガス削減と適応策が重要である。本講義では、地球温暖化の進行によって生ずる健康影響とそのための適応策について議論し、温暖化時代の社会を考える。

申込

往復はがき往信面に講座名、代表者を含む5人までの氏名、代表者の住所、電話番号、返信面にご自身の宛先を明記し、〒300-1592 取手市藤代700番地生涯学習課 市民大学東京大学EMP特別講座「気象変動と健康」係宛てに郵送か、専用申込フォームから 申込 お申し込みください。 フォーム→



問い合わせ先：取手市教育委員会生涯学習課 TEL:0297-74-2141